令和８年１０月１４日

数実研会員各位

北海道算数数学教育会高校部会長　辻　　伸也
（北海道札幌西陵高等学校長）
北数教数学教育実践研究会代表　　長尾　良平
（北海道室蘭栄高等学校教諭）

第１３９回北数教数学教育実践研究会について（ご案内）

秋麗の候　貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃から、当北数教数学教育実践研究会の研究活動に温かいご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

さて、次のとおり「第１３９回数学教育実践研究会」を開催することとなりました。つきましては、ご多忙の折りとは存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、会員以外の方の参加も歓迎いたしますので、お誘い合わせの上多数ご参加下さいますよう重ねてご案内いたします。

記

１　日　　時　　令和８年１１月２８日（土）１３：３０～１７：３０

２　会　　場　　札幌光星高等学校（地下鉄東豊線東区役所前下車　徒歩１分）

３　日　　程

13:00～13:30　受　　付

13:30～13:40　代表挨拶

13:40～15:10　**【講演】「デュードニーパズルの最適化証明」**

北陸先端科学技術大学院大学　先端科学技術研究科

コンピューティング科学研究領域　助教　　鎌田　斗南　様

1907 年、H. E. Dudeney は「正三角形をできるだけ少ないピースに切り分け、それらを組み合わせて正方形を作れ」というパズルを提示した。4 週間後、デューデニーは美しい 4 ピースの解法を示し、これは今日に至るまで最も有名な裁合せパズルのひとつである。本発表では、このパズルの最終な解決、すなわち、正三角形と正方形は、3 ピース以下の裁合せを持たないことの証明について、紹介する。 本公演の内容は 17th Innovations in Theoretical Computer Science Conference (ITCS 2026) で発表された Erik D. Demaine 氏、上原隆平氏と発表者の共同研究に基づいたものである。

※授業実践の中で感じている『ちょっとした教材の工夫』をお互いに出し合ってみましょう。１ページレポート(Ａ４縦)大歓迎です。

※研究会終了後、市内別会場で懇親会を行います。数学について語り合いましょう。

４　申 込 み　11 月 16 日(月)までに Google フォームを利用して申し込んでください。

発表希望者は 11 月 20 日(金)までにレポートのデータを送付してください。

フォームへのリンク　https://forms.gle/DdPxkJP5eU9SjtT39

フォームからの登録が上手くいかない場合は事務局まで E-mail にてご連絡願います。

谷口智哉：E-mail：taniguchi.math.izumi@gmail.com